



2022年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社三栄コーポレーション  
代表者 代表取締役社長 水越雅己  
(コード番号 8119)  
問合せ先責任者 執行役員財務部長 小平敏之  
(TEL 03-3847-3500)

## 2023年3月期第2四半期業績予想と実績の差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年3月期第2四半期累計期間の業績について、2022年5月13日に公表した業績予想との差異が下記のとおり生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	△500	△450	△500	△210.31
実績値 (B)	18,203	△285	△238	△283	△119.13
増減額 (B-A)	203	215	212	217	
増減率 (%)	1.1	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	16,279	△358	△242	△375	△158.23

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,000	△700	△600	△700	△294.44
今回修正予想 (B)	37,000	△500	△400	△500	△209.20
増減額 (B-A)	1,000	200	200	200	
増減率 (%)	2.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	33,976	△912	△657	△945	△398.03

(3) 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,500	百万円 △250	百万円 △250	円 銭 △105.16
実績値(B)	7,047	△108	△52	△22.03
増減額(B-A)	547	142	198	
増減率(%)	8.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	8,015	100	75	31.91

(4) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,000	百万円 △600	百万円 △600	円 銭 △252.38
今回修正予想(B)	14,000	△450	△400	△167.36
増減額(B-A)	1,000	150	200	
増減率(%)	7.7	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	15,099	△479	△511	△215.34

## 2. 修正の理由

(1) 第2四半期(累計)期間連結業績予想および個別業績予想の実績との差異理由

連結業績、個別業績ともに、売上高につきましては、ほぼ予想通りとなりましたが、利益面につきましては、主にブランド事業での店舗戦略見直しに係る経費削減により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益(個別は四半期純利益)は、当初の業績予想を上回る結果となりました。

(2) 通期連結業績予想および個別業績予想の修正理由

連結業績、個別業績ともに、売上高は、消費活動の回復を背景に受注が増加していることから当初予想を上回る見込みです。利益面につきましても、主としてブランド事業において、原材料・資源価格の高騰や円安進行による売上原価への影響はあるものの、当第2四半期(累計)期間までの経費削減効果により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益(個別は当期純利益)は、当初の業績予想を上回る見込みとなりました。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な要因により実際の業績は異なる結果となることがあります。

以上